



思い出の
ランドセルギフト

委員会だより No.2



東京むかで・石巻広域・神戸ポート各ワイズメンズクラブ&有志のメンバー

今年の目標は300個！

昨年度は、**628個**のランドセルをアフガニスタンに送ることができました。これは、大口の寄付金があったためです。ランドセルを集めることと船で送るための送料を集めることが大切な活動です。

そこで、今年度は、**目標個数を300個**とし、ランドセル集めとともに、寄付金を集めることを重点に取り組みます。どうか、みなさん、ご協力をお願いします。

ご寄付いただきたいもの

1. **寄付金**：思い出のランドセルギフトプロジェクト運営・推進のための費用
(広報活動、通信費、国内輸送費等)

【寄付金振込口座】事務局東北ヘルプ郵便振替 02290-8-136273 特定非営利活動法人 被災支援ネットワーク
金融機関からの振込口座 ゆうちょ銀行二二九店 当座預金 0136273

2. **ランドセル+海外輸送費** (各クラブで集めてジョイセフへ直接お送りください。)
【ランドセル送付先】

〒143-0001 東京都大田区東海 4-7-7 鴻池運輸 大井物流営業所内
サンライト「ジョイセフランドセル」係

【振込先】三井住友銀行 新宿通支店 普通 0922014 コウエキザイダノホウジンジョイセフ

詳細は、下記ジョイセフのウェブサイトをご覧ください。 URL: <https://joicfp.or.jp/rand>

<思い出のランドセルギフトプロジェクトとは>

1. 公益財団法人ジョイセフの「思い出のランドセルギフトプロジェクト」
(以下、本プロジェクト)に賛同し、アフガニスタンの子どもたちの笑顔のために、ワイズメンズクラブの関係者やネットワークを通して、普及・拡大に協力する。
2. 国際連合が主導しているSDGs〈持続可能な開発目標〉にあわせて、継続的に児童の教育機会の提供を援助すると共に国際協調を通じて経済的、社会的弱者の支援を行う。
3. 上記1. 2の活動を通じて、ワイズメンズクラブ国際協会東・西日本区の理念・目的を遂行しクラブを活性化するとともに、他の団体とも協働し、社会貢献をめざす。

<実行委員会の立ち上げ>

公益財団法人ジョイセフが行っている「ランドセルギフト」と協働をめざし、東日本区石巻広域クラブ、東京むかでクラブ、西日本区神戸ポートクラブ、そして有志のワイズメン/ウィメンが集い、実行委員会を立ち上げました。定例の会合を開き、具体的運営方法について協議を重ねています。



アフガニスタンの女子教育の現状

アフガニスタンの実権を握ったイスラム原理主義勢力タリバンは昨年12月20日、公立と私立の大学で女子教育の無期限停止を命じました。今回の措置でアフガニスタンで女子が通えるのは小学校だけとなりました！

アフガニスタンの子供たちへのランドセルギフト支援活動の重要性が、ますます高まっていると言えます。

今回は、ジョイセフ理事長、勝部まゆみさんのメッセージをご紹介します。(Home Pageより)

『アフガニスタンでの女性の大学教育停止を受けて』

公益財団法人ジョイセフ 理事長 勝部まゆみ
2022年12月20日、アフガニスタンの全国の公立と私立の大学で、女性が教育を受けることができなくなりました。2021年8月にタリバンによる政変が起きて以来、女子の中学、高校教育が停止され、実質、アフガニスタンの女性の教育の機会は小学校6年間のみとなりました。

今回の決定により、**医学部、教育学部を含むすべての分野において、女性が高等教育を受ける機会が閉ざされました。**つまり、女性の



医療従事者、女性の教育者が、今後は育成されない事態が現実となりつつあります。家族以外の男性に肌を見せられず、医療施設では女性の医療従事者にしか診察してもらえない、学校では女性教員にしか教えを受けられない女性たちにとって、致命的です。女性が命を落とせば、それはその子どもや家族の健康、命、生活にも大きな影響をもたらします。これは、アフガニスタン全国民の健康と命を危険に晒す決定とも言えるのです。

ジョイセフは、タリバンによる暫定政権が、この決定を見直し、女性への高等教育を再開することを強く望みます。また、現在唯一女性に開かれている小学校で、今後もランドセル、学用品の配付を継続し、政府や地域住民に対し、女子教育支援の重要性を訴えていきます。

そして、対話と支援による平和的な解決によりアフガニスタンの人々が男女平等な教育の機会を取り戻せるよう、屈することなく、支援活動を続けていきます。

思い出のランドセル活動で貢献できるSDGs目標

1. 貧困をなくそう
貧しい人々の支援
3. 全ての人に健康と福祉を
子供や女性が健康に
4. 質の高い教育をみんなに
小学校での学びを支援
5. ジェンダー平等を実現しよう
女の子の教育支援
10. 人や国の不公平をなくそう
世界で不幸な状況にある国の支援
12. つくる責任、使う責任
ランドセルの再利用
16. 平和と公正をすべての人に
紛争下にある人々を助ける
17. パートナーシップで目標を達成しよう
企業、学校、団体の参加協力



資料提供 ジョイセフ

アフガニスタンの子供たちに、日本で使用済みのランドセルを贈ることにより、最低限の教育を受ける機会に繋がります。特に差別の対象となる女の子が小学校に通い、字を読み書きでき、自分や家族の健康や命を守ることに繋がります。

他国からの侵攻により、紛争が続き、貧しく不幸な国を支援しています。

この活動を、様々な教育機関、企業、団体をとおして、また個人として、参加支援します。

ランドセルの活動は、SDGs目標の多数の目標に直接にかかわります。(17目標の中の8目標)小学生や中学生から、SDGs目標が、大変にわかりやすいとの、意見を多くもらっているそうです。ワイズメンズクラブの『思い出のランドセルギフト』支援活動は、まさに「SDGs目標17のパートナーシップで目標を達成しよう」の活動といえます。